

目次

【本編】

- I. 公園の概要
- II. 目標像(公園の方針)
- III. 取組の方針

【基礎資料】

- 1. 公園の沿革
- 2. 公園周辺の特性
- 3. 関連計画における
公園の位置付け
- 4. 公園の利用実態
- 5. ゾーンの設定

長野公園 マネジメントプラン (案)

令和7年4月

富田林土木事務所／公園課

※取組成果を点検、評価し、必要に応じ適宜見直していきます

I. 公園の概要

1. 公園名称:大阪府営長野公園
2. 所在地:河内長野市末広町、河合寺 外
3. 公園種別:広域公園
4. 開設面積:46.3 ha(都市計画面積:30.3 ha)
うち長野地区 3.4 ha 河合寺地区 2.9 ha
観心寺・丸山地区 13.1 ha 延命寺地区 1.2 ha
天野山地区 25.7 ha
5. 開設日:昭和 26 年 10 月 20 日
6. アクセス:南海高野線並びに近鉄長野線「河内長野駅」から 300m～5.4km
南海高野線「三日市町駅」から 2.4km

7. 概要:

長野公園は大阪府南東部、金剛山麓の南側に位置する。昭和 26 年 10 月に旧長野遊園地跡の長野地区、河合寺地区、観心寺・丸山地区、天野山地区の4地区が長野公園として開設され、昭和 32 年 10 月に新たに延命寺地区が編入、5地区となった。全面積約 46ha、これらはいずれも楠木一族南朝ゆかりの遺跡の多い所である。

本公園は、府内でも数少ない、自然を生かした展望の素晴らしい公園である。

8. 主要施設:

- ①園路及び広場:広場(長野地区、天野山地区)
- ②修景施設:あじさい園(河合寺地区、長野地区)展望台(長野地区、河合寺地区、観心寺・丸山地区、天野山地区)
- ③休養施設:回廊休憩所(長野地区) 休憩所(河合寺地区、延命寺地区、天野山地区)
キャンプ場(天野山地区)
- ④遊戯施設:児童遊戯場(長野地区、天野山地区)
- ⑤便益施設:便所(長野地区、河合寺地区、延命寺地区、天野山キャンプ場)
- ⑥管理施設:公園管理事務所

9. 経緯:昭和 26 年 10 月 長野公園として開設(約 47.81ha)
昭和 32 年4月 長野地区(4.54ha)都市計画決定
昭和 46 年 12 月 長野、河合寺、観心寺、延命寺各地区計画決定(25.8ha)
平成6年8月 長野公園開設区域の変更告示(合計 46.0ha→46.3ha)

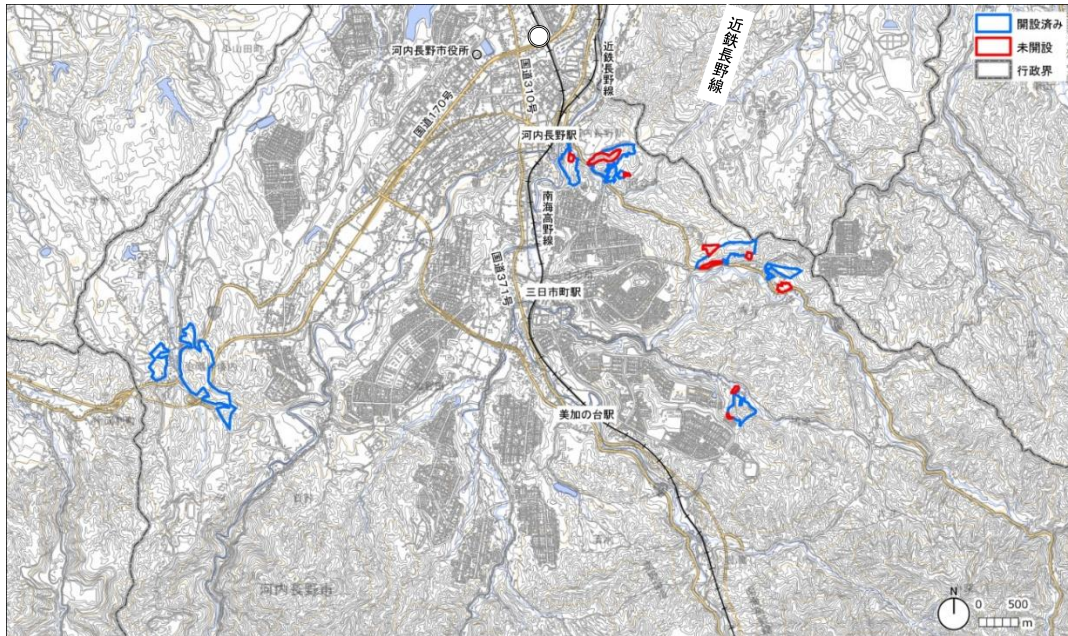


図1.広域図

出典: 国土地理院基盤地図情報 25000「大阪府」、地理院タイル・淡色地図、
国土交通省国土数値情報 を加工して作成



図2-1.施設配置図(長野地区)



図2-2.施設配置図(河合寺地区)

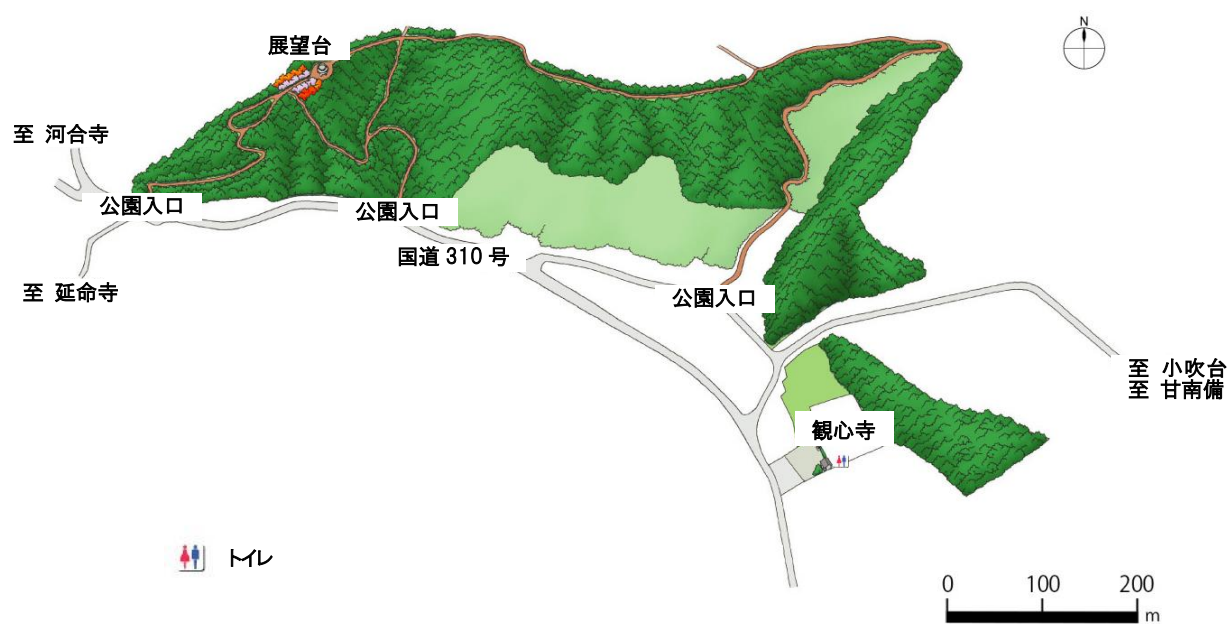


図2-3.施設配置図(観心寺・丸山地区)

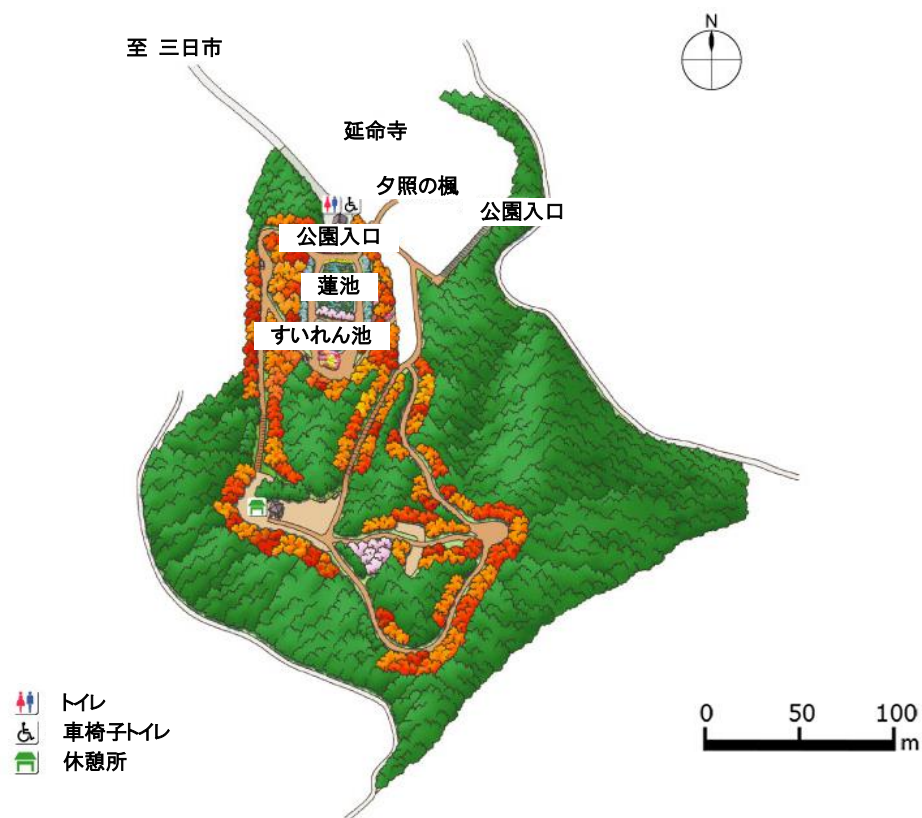


図2-4.施設配置図(延命寺地区)

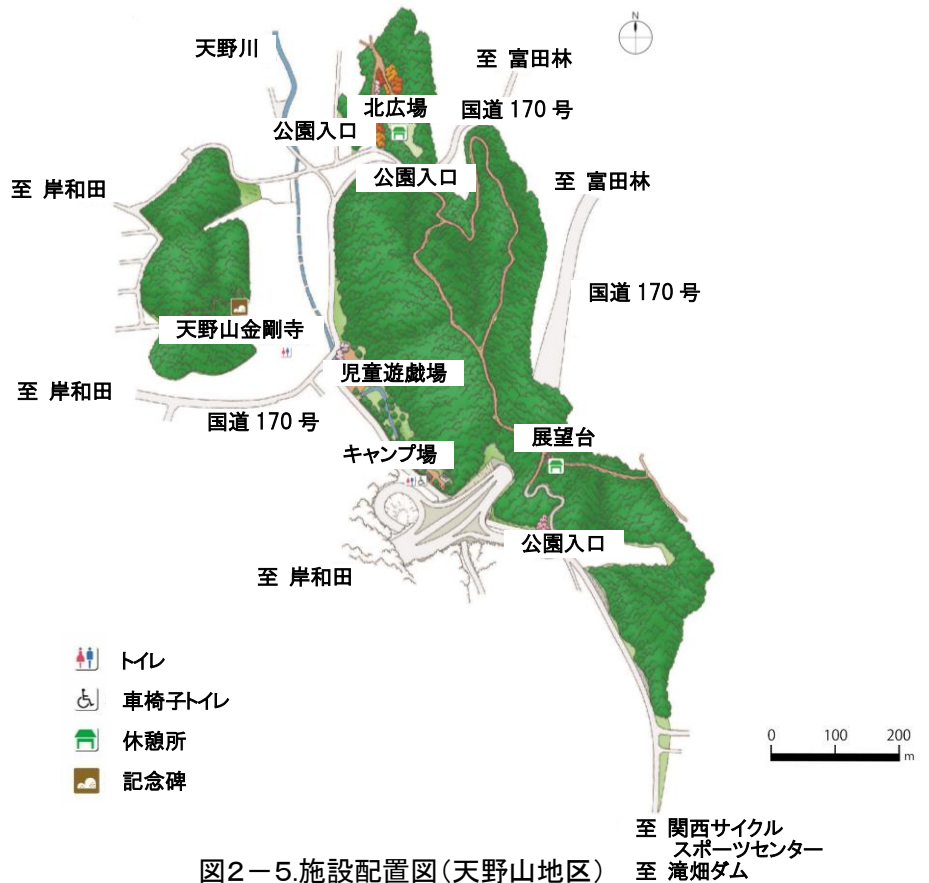


図2-5.施設配置図(天野山地区)

II. 目標像(公園の方針)

マスタープランで定めた4つの目標像を実現するため、公園ごとの立地特性等に応じた目標像と方針を以下のとおり設定する。

■目標像:『山の眺望と歴史資産を活かして奥河内の自然を楽しむ公園』

1. 取組基本方針

- 1) 公園の特色を活かし育み、都市の顔となる公園づくりを推進
 - 歴史遺産と連携・協力して、地域の魅力を高める公園
- 2) 民間活力の積極的導入により、地域に貢献し、都市の活力を生み出す公園づくりを推進
 - 公園の豊かな自然と地域の歴史を深く楽しむことができる公園
- 3) 府民の命を守り、安全・安心・快適に利用できる公園づくりを推進
 - 山の樹木を守り、周辺住民が安心できる公園
- 4) 多様な自然とふれあい、都市の環境を保全する公園づくりを推進
 - 山の花木やモミジなどを利用者が楽しむことができる公園
 - 山の生き物と触れ合うソフト事業等が展開される公園

2. ゾーン別の方針

- 1) 自然ゾーン(長野地区)
 - 駅に最も近く、周辺の展望を活かし、子供や家族づれが生き物やみどりにふれあう地区
- 2) 自然ゾーン(河合寺地区)
 - 豊富な花木や金剛・和泉・葛城の山々の眺望などの良好な景色を楽しむ地区
- 3) 自然ゾーン(延命寺地区)
 - 延命寺の一部を借地し、紅葉、深い樹林やハス池などの歴史的な景観を楽しむ地区
- 4) 自然ゾーン(観心寺・丸山地区)
 - 日本遺産に認定された観心寺の一部を借地し、紅葉、うっそうとしたスギ・ヒノキの林や明るい尾根の散策を楽しむ地区
- 5) 自然ゾーン(天野山地区)
 - 日本遺産に認定された金剛寺の一部を借地し、ムササビのいる原生林やスギ・ヒノキの大木の林のある、野外教育やデイキャンプを楽しむ地区

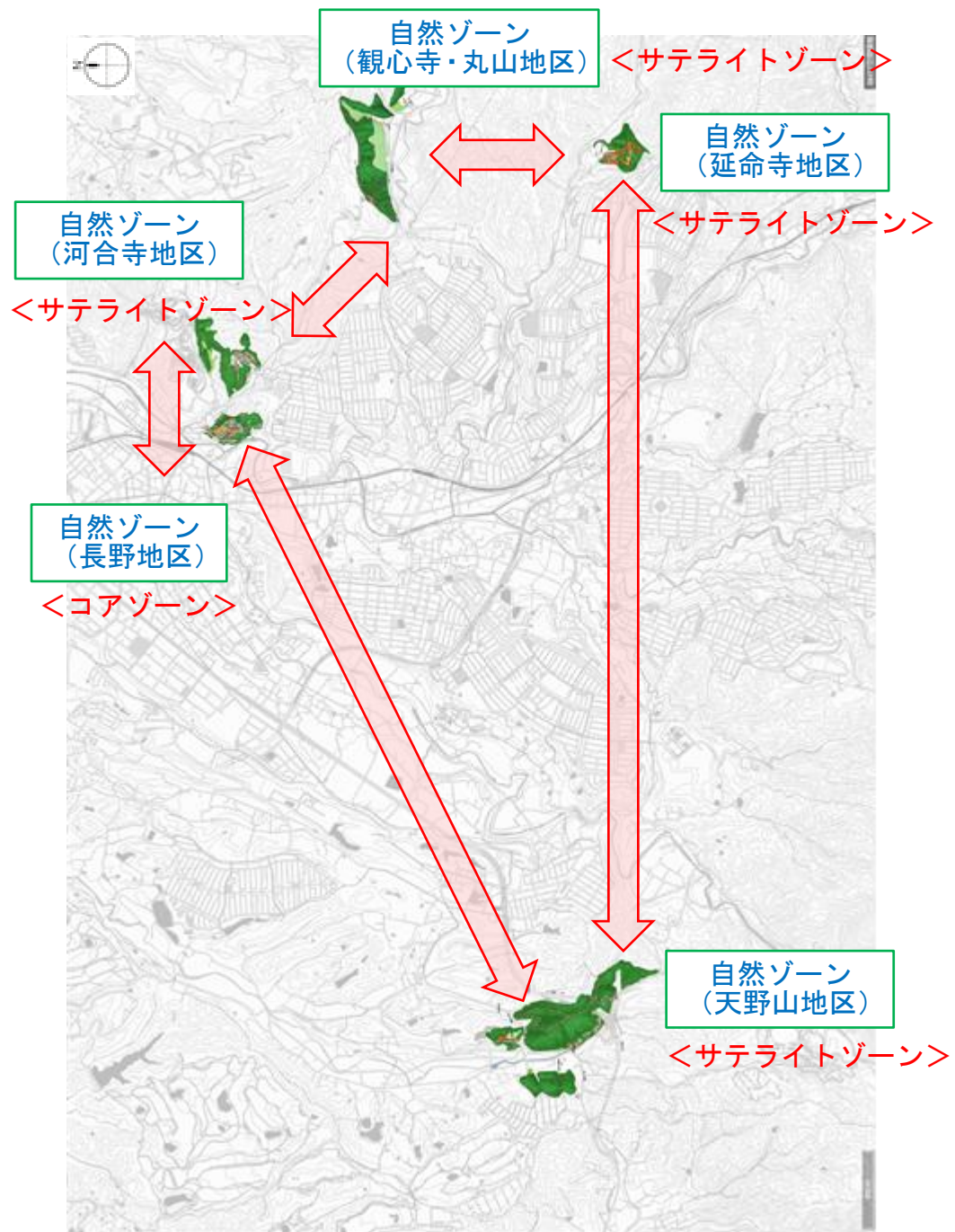


図3.ゾーンの設定

III. 取組の方針

公園の目標像を実現させるためには、公園の特性を踏まえた具体的な取組を進めていくことが必要である。公園に関わる多様な主体が取組の方針を共有しつつ連携していけるように、以下のとおり取組の方針を設定する。今後、民間活力の積極的な導入並びに地元市町村及び公園周辺の事業者との連携により、公園の賑わいづくりや利用者サービスをさらに高めていくとともに、様々な周辺地域の課題についても柔軟に対応する。

1. 運営管理の方針

公園の運営管理については、本マネジメントプランで定める目標像の実現に向け、本公園の特性を踏まえた方針を以下のとおり設定する。

1) 大阪の魅力を高める

① 歴史資源との連携・協力

- ・ 観心寺や延命寺の歴史ある寺院等と、景観面などで互いに協力しながら、その関係をさらに深めていくなど、歴史性のある立地条件を活用し、地域の活性化に貢献する。
- ・ 大阪湾まで望めるすばらしい眺望を楽しめるよう、展望台周辺の樹林管理を行うとともに、その展望を PR し、長野公園の各地区を回遊してもらえる仕組みづくりを推進する。

2) 民間活力の積極的導入により、地域に貢献し、都市の活力を生み出す

① 自然を活かした公園利用

- ・ 山の公園の特性を活かした四季の風景を楽しめるハイキングや、5か所の展望台をめぐるウォーキング等、健康づくりの場を提供する。

② 地域の団体との連携による公園の活性化

- ・ ボランティア、環境団体、企業、大学、地元等多様な主体と連携し、周辺地域の自然・歴史的価値を活かしたイベント・交流などを通じて、公園・地域が一体となった魅力づくりを推進する。
- ・ 地域住民、商店等と連携しながら新たな出会いを生む活動の場として、地域共同イベントを開催し、公園の新たな魅力を開拓する。
- ・ 民間活力の積極的な導入による公園の賑わいづくりや利用者サービスの向上を通じて公園の魅力をさらに高めていく。
- ・ 公園の管理・運営や活用について、多様な主体と話し合うことができる協働のプラットフォームづくりを推進する。
- ・ 公園の資源を最大限に活かすため、新たな付加価値の創出や ICT による健康づくりの場の提供など、先端テクノロジーを積極的に活用し、公園の魅力向上に取り組む。

3) 府民の安全・安心を支える

① 安心できる公園づくり

- 風致林を守るとともに、斜面地を保全し、周辺住民が安心できる公園づくりを推進する。

② ユニバーサルデザインに基づいた情報発信

- 子どもから大人まで楽しむことができるバリアフリーに関わる情報発信を行う。

4) 都市の貴重な自然環境を次世代につなぐ

① 山と共存できる公園づくり

- 樹木剪定や火災予防を行い、安全にも配慮しながら山の自然を楽しめるよう、天野山キャンプ場を管理運営する。
- 園内で子供たちが自然を感じることができる観察会等を実施し、環境学習の場として活用する。
- 長野地区展望台周辺・丸山地区山頂付近・天野山山頂付近について、自然環境の保全・創出と自然環境学習への活用に努める。

2. 維持管理の方針

維持管理の取組方針について、本公園の景観特性、施設特性等を踏まえた取組方針を以下に提示する。

1) 維持管理の取組方針

① 長期的視点に立った植栽管理と景観形成

- 危険木の点検・伐採などの管理強化を早急に進め、来園者の安全を確保する。
- 延命寺地区のハス池の景観を安定して保つよう管理する。
- 延命寺地区のモミジ周辺の雑木除去を行うなど、歴史の中で受け継がれてきた、美しい景観を末永く楽しめる質の高い樹木・植物管理を実施する。
- 長野公園の生物多様性に配慮し、特定外来生物の排除等、適切な管理を行う。

2) 施設別の取組方針

① 延命寺地区の「蓮池(千重紅)」

- 池全面のハスが繁茂し開花するよう、適切かつ継続的に管理を行うとともに、その養成等、長期的な視点で維持管理を行う。

② 長野地区、河合寺地区の「あじさい園」

- 毎年、あじさいの開花時には一面が花で鮮やかになるように、長期的な視点で維持管理を行う。

③ 天野山キャンプ場

- キャンプ場各施設の状態把握・点検を行いながら、団体利用とともに、近年のデイキャンプ利用も踏まえ、利用者の安全対策及び衛生面の維持向上を図る。

3. 整備・改修の方針

公園の整備・改修については、本公園の性格・役割や目標に照らし、長期的な視点に立つことを基本とし、整備・改修の対象となる施設の現況特性等に応じ、方針を以下のとおり定めて行うものとする。

1) 大阪府都市基盤施設長寿命化計画に基づく施設の改修・更新

「大阪府都市基盤施設長寿命化計画」に基づき、計画的に施設の改修・更新を実施し、公園施設の機能を維持する。

2) 園路や斜面地の適切な保全

来園者の安全を確保するために、土砂流出や落石を防ぐための施設を整備・管理して、山の公園としての環境を適切に保全する。

4. 評価指標と目標値

これらの取組により、多くの人が満足して利用できる公園となるよう魅力の向上を図り、マスタープランに示す以下の評価指標と目標値の実現をめざす。

表1.評価指標と目標値

評価指標	単位	現況値 (2017 年)	目標値 (2028 年)	備考
年間来園者数	万人	21	23	1 割増
利用者満足度 注)	%	55	65	10%増

注) 来園者に対するアンケートで、「1.満足」と回答した人数を、アンケート回答者数で除算した値。

アンケートは「1.満足 2.やや満足 3.やや不満 4.不満 5.わからない」から選択

長野公園 基礎資料

1. 公園の沿革

長野公園は、近畿の秀峰、金剛山の山麓が集落に接する地点に点在する。旧長野遊園地の長野地区、河合寺地区、観心寺丸山地区、天野山地区は昭和 26 年 10 月に長野公園として開設され、昭和 32 年 10 月には新たに延命寺地区が編入され 5 地区となった。全面積約 46ha、これらはいずれも楠木一族南朝ゆかりの遺跡の多いところである。

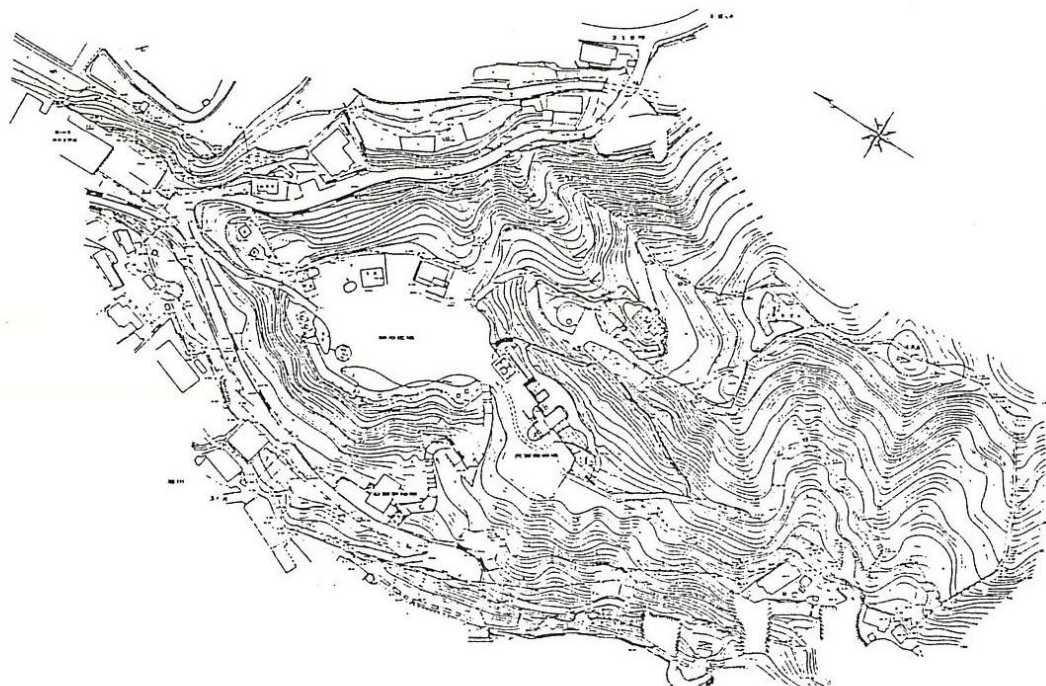
その後、平成元年度に河合寺地区のあじさい園を、平成 2 年度には長野地区の児童遊戯場を整備したことにより、都市公園としての施設内容が充実してきた。

現在の開設面積は、5 地区合わせて約 46.3ha である。

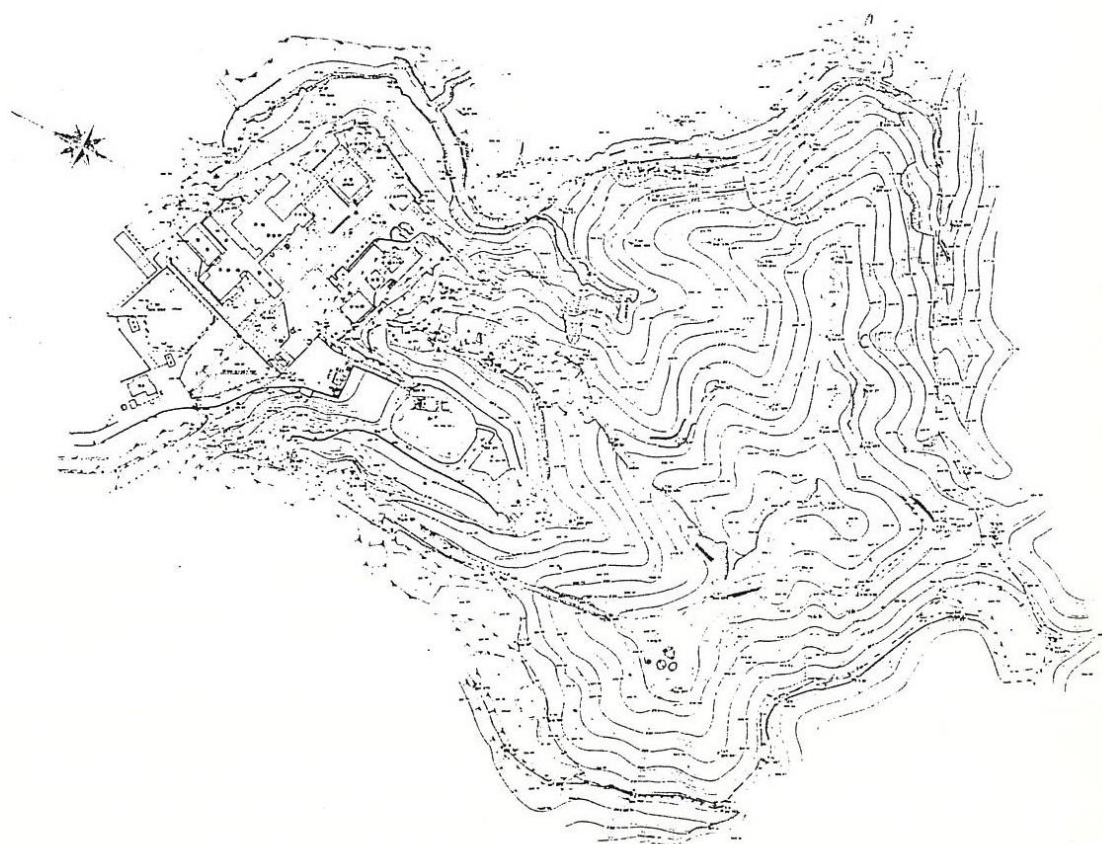
年月日				項目
昭和	24	11.		天野山公園(現天野山地区)第1期造成工事着手
	26.	10.	20	天野山地区、河合寺地区、観心寺地区、長野地区を総括して、長野公園として開設
	32	4.	9	長野地区(4.54ha)都市計画決定
	32.	10.	11	延命寺地区を追加編入
	43.	2.	23	天野山地区 近郊緑地保全区域となる。
	46.	12.	10	長野、河合寺、観心寺、延命寺各地区計画決定
	60.	3.		公園事務所新築 延面積 123.93 m ²
平成	3.	3.		長野地区 児童遊戯場(緑の広場)、あじさい園完成
	6.	8.		長野公園開設区域の変更告示
	9.	3.		天野山地区 キャンプ場、児童遊戯場改修完成
	24.	3.	22	長野地区児童遊戯場完成

・平面図

長野公園（長野地区）現況平面図

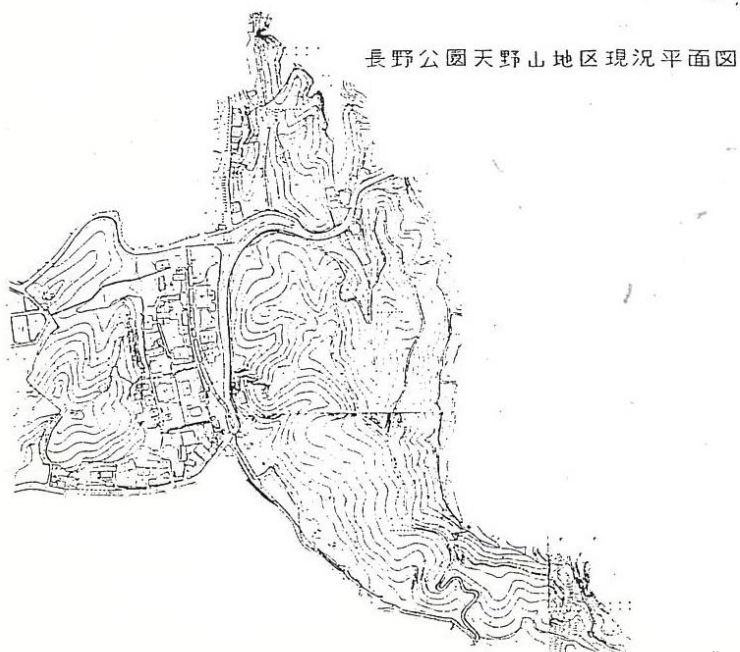


長野公園（延命寺地区）現況平面図
河内長野市神ヶ丘



出典：府営公園のあゆみ—公園課 30 周年記念誌—
（平成 6 年 3 月 大阪府土木部公園課）

・平面図



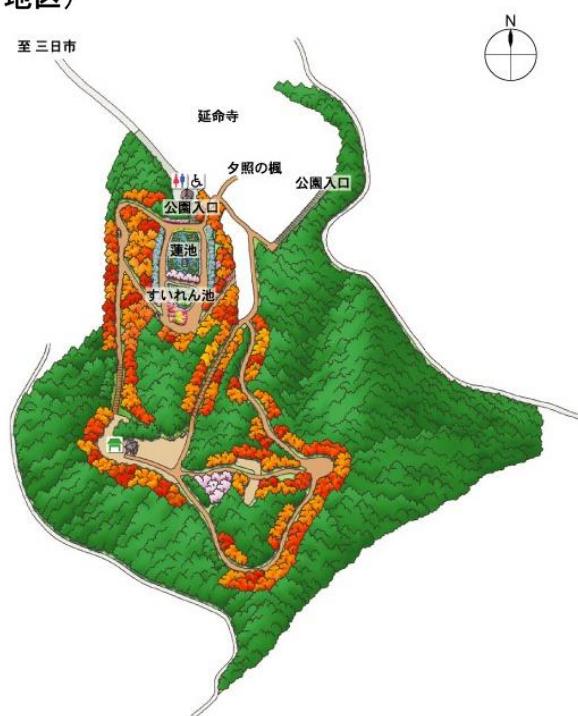
出典：府営公園のあゆみ—公園課 30 周年記念誌—
(平成 6 年 3 月 大阪府土木部公園課)

・平面図

長野公園(長野地区)



長野公園(延命寺地区)



出典:府営公園 135 周年記念誌
(2009.3 大阪府都市整備部公園課)

・平面図

長野公園(河合寺地区)



長野公園(観心寺・丸山地区)



出典:府営公園 135 周年記念誌
(2009.3 大阪府都市整備部公園課)

・平面図

長野公園(天野山地区)

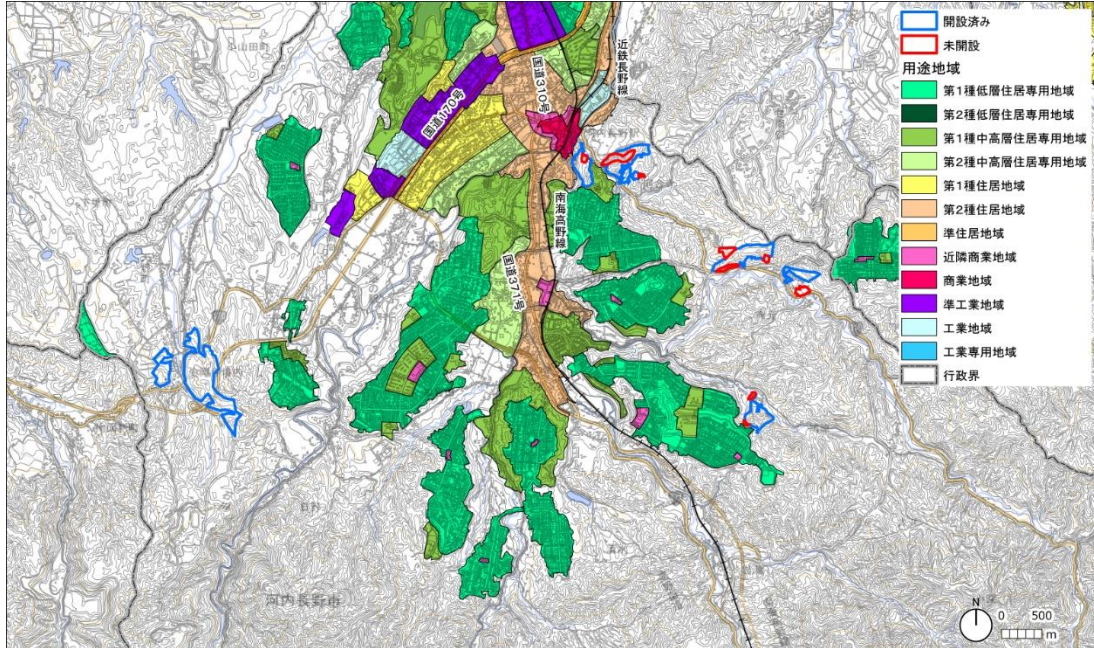


出典:府営公園 135 周年記念誌
(2009.3 大阪府都市整備部公園課)

2. 公園周辺の特性

• 用途地域の状況

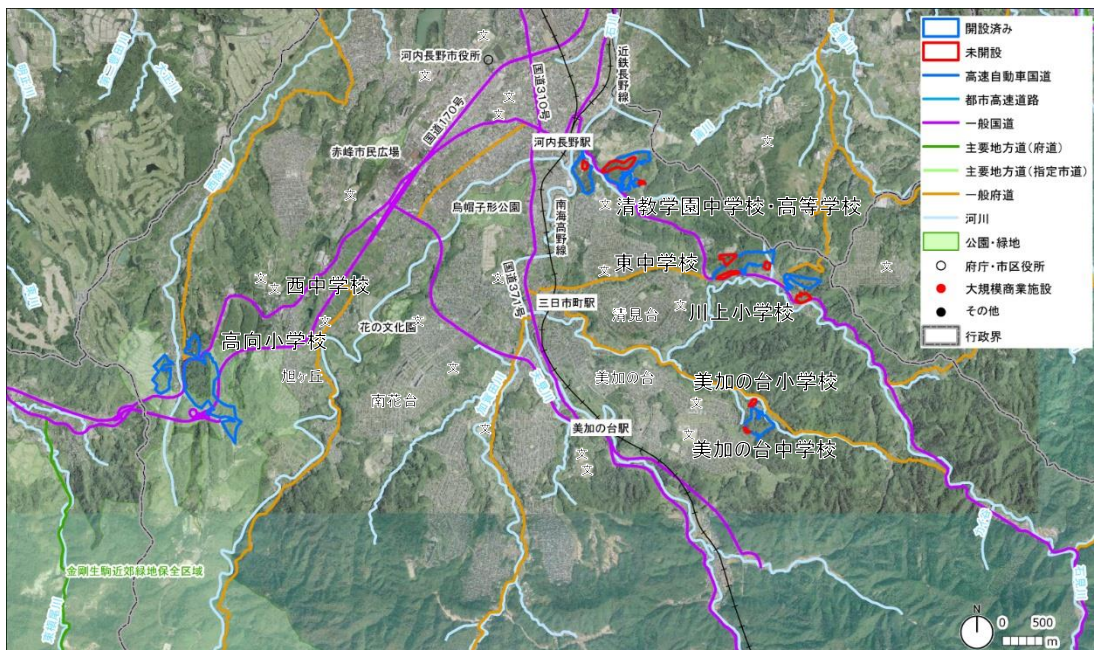
公園周辺は、主に第一種低層住居専用地域や第一種中高層住居専用地域、第二種住居地域の用途指定がなされている。公園は市街化調整区域や都市計画区域外に位置し、近隣住宅や沿線府民のレクリエーションの地となっている。



出典: 国土地理院基盤地図情報 25000「大阪府」、地理院タイル・淡色地図、国土交通省都市計画決定 GIS データ を加工して作成

• 立地特性

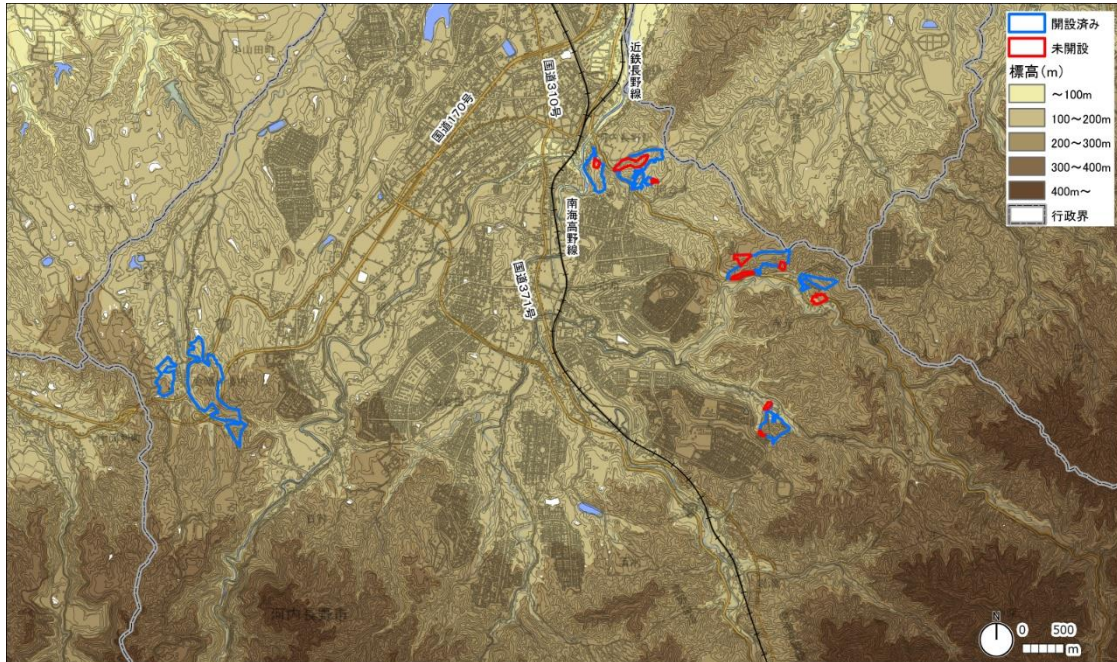
長野公園は、南海高野線並びに近鉄長野線「河内長野駅」や南海高野線「三日市町駅」から数百 m～数 km の位置にあり、周辺には清美台や美加の台など数カ所の住宅団地が形成されている。これに伴い、周辺には美加の台小中学校、清教学園等、多くの学校が立地している。



出典: 国土交通省国土数値情報、国土地理院航空写真 を加工して作成

• 地形条件

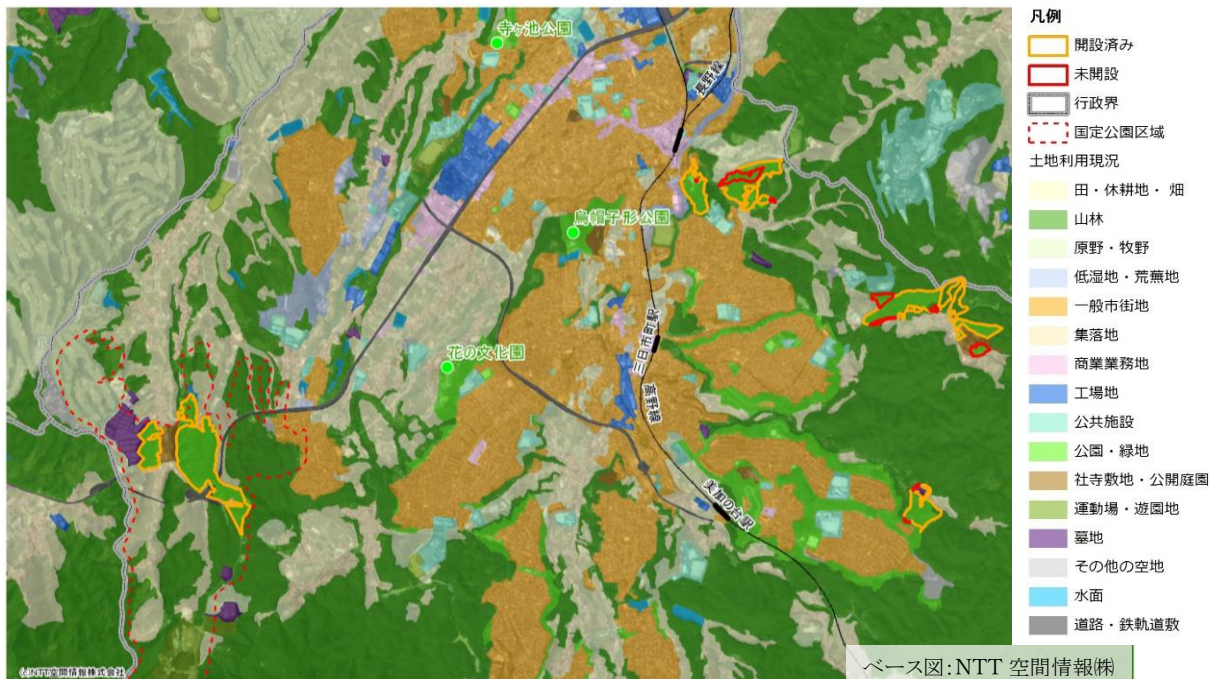
長野公園は、近畿の秀峰として名高い金剛山山麓の南側に位置し、西から東に向かって高くなる起伏に富む地形である(高低差約 500m)。



出典: 国土地理院基盤地図情報 25000「大阪府」、
国土地理院基盤地図情報数値標高モデル を加工して作成

• 緑被状況

長野公園は、金剛山系に位置し、周辺山系を結ぶ広域的な府のみどりのネットワークの一部を担っている。



出典: 大阪府都市計画基礎調査 土地利用現況 (平成 27 年)

3. 関連計画における公園の位置付け

関連する計画での長野公園の位置付けを以下に抜粋整理する。

■南部大阪都市計画区域の整備、開発及び保全の方針(都市計画区域マスタープラン)(令和2年10月改定 大阪府)

- 広域公園は、「都市の風格を高めるみどりのネットワーク拠点」及び「安全・安心で快適な暮らしを支える重要な都市基盤」、「多様な個性で都市の活力と魅力を高める府民共有の資産」という基本理念に基づき、大阪の活力と魅力を高め、府民の豊かで、安全・安心な生活を支えるとともに、みどりの少ない大阪の貴重な自然環境を保全し、次世代に継承する公園づくりを進めます。(第4章 35 頁)
- 憩いの場や交流・スポーツの場、災害時の広域的な一時避難地、市街地における貴重なみどりの拠点等、公園ごとの特色を活かし育み、公園が立地する都市の顔となるよう、公園ごとに施設の整備や、活用・管理の充実等に取り組めます。(第4章 35 頁)
- 民間が公園施設の設置を含め、公園全体をマネジメントする PMO (ピーエムオー) 型指定管理や、公園の一部を活用して施設の設置・管理を行う P-PFI (ピー・ピーエフアイ) 型施設整備等を導入し、民間の資金やノウハウを活用して、公園の特色や利用者のニーズに合わせたにぎわい施設の設置等、にぎわいづくりに取り組めます。(第4章 35 頁)
- 主要道路、主要河川、大規模公園緑地を軸や拠点として、環状・放射状・東西方向等のみどりの連続性や厚みと広がりを確保し、周辺山系や大阪湾の豊かな自然を街へと導く「みどりのネットワーク」を形成します。(第4章 42 頁)
- 山並み、河川、大阪湾、歴史的街道、広域幹線道路、ニュータウン、大規模公園緑地等においては、大阪府が中心となって関係自治体と連携して景観づくりを推進していきます。(第4章 49 頁)

■河内長野市第 5 次総合計画(平成 28 年 3 月策定 河内長野市)

- 観光資源・特産品・施設等として、奥河内さくら公園 (94・96 頁)
- 観光資源・特産品・施設等として、奥河内あじさい公園(河合寺地区)、奥河内楠公の里(観心寺・丸山地区)、奥河内もみじ公園(延命寺地区)(104 頁)

■河内長野市都市計画マスタープラン(令和5年 3 月改訂 河内長野市)

- 花の文化圏、滝畑ダム、関西サイクルスポーツセンター、岩湧の森など観光・レクリエーション施設が点在しているとともに、豊かな自然を満喫できる公園として、5 ケ所の地区からなる府営長野公園があります。(60 頁)
- 本市を代表する歴史性を有する観心寺・丸山地区、河合寺、延命寺、金剛寺周辺に配置されている府営長野公園は、市外からの来訪者を迎える観光スポットとして連携・活用を図ります。【奥河内さくら公園(長野地区)、奥河内あじさい公園(河合寺地区)、奥河内楠公の

里(観心寺・丸山地区)、奥河内天野キャンプの森(天野山地区)、奥河内もみじ公園(延命寺地区)】(62 頁)

- 道路や公園、公共建築物などは、緑化・水辺環境、眺望などをデザインし、地域に親しまれる景観形成を図ります。【都市計画道路、長野公園、寺ヶ池公園、庁舎など】(82 頁)

■河内長野市みどりの基本計画(令和4年3月改定 河内長野市)

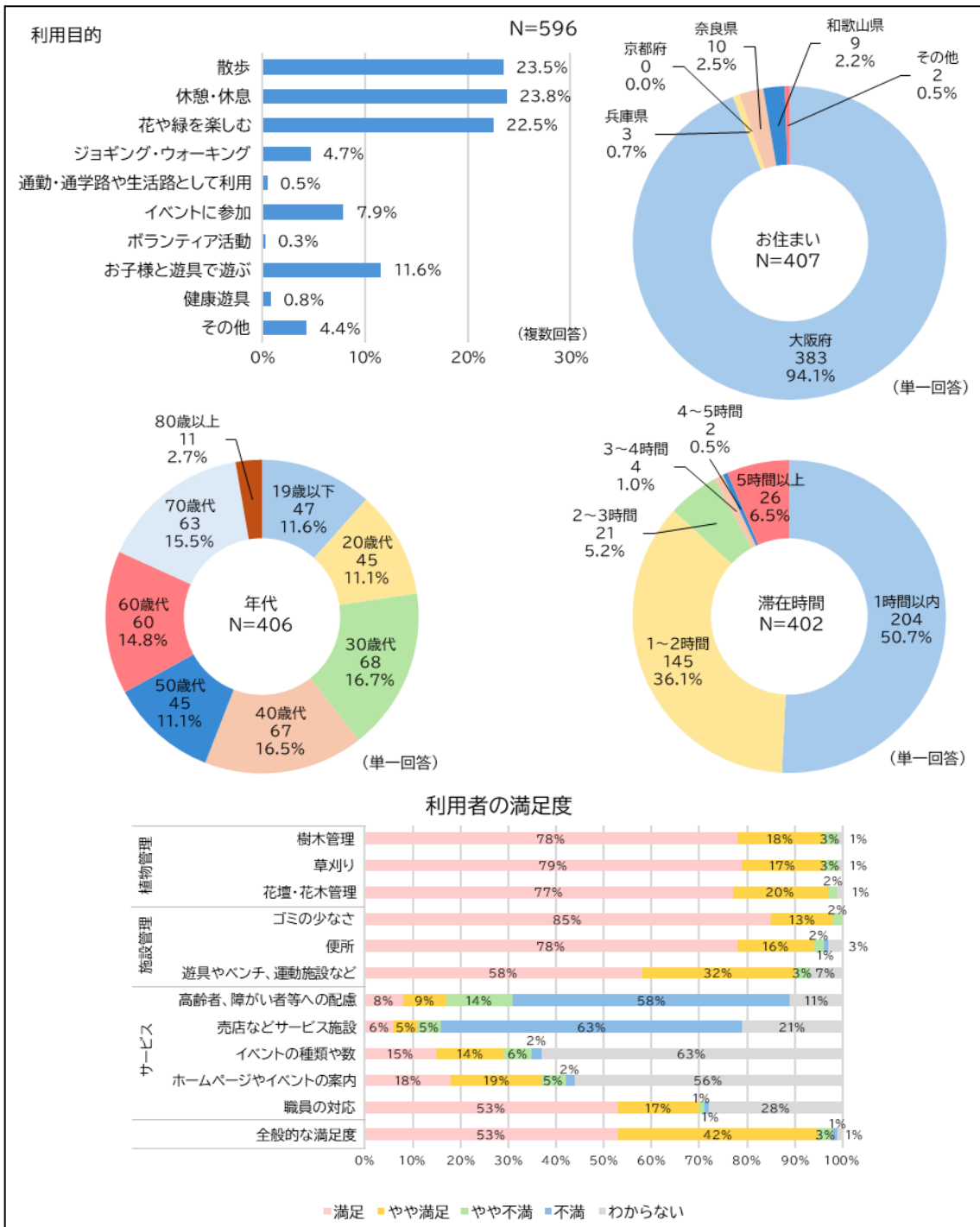
- 府営長野公園は、市外からの来訪者を迎える 観光スポットとして保全、整備を支援します。(26 頁)
- 地域別緑の将来像(南河内地域):大規模公園緑地を拠点としたみどりとして、長野公園、錦織公園の保全、整備 (30 頁)

4. 公園の利用実態

・利用者特性の把握

本公園は、散歩、休憩・休息、花や緑を楽しむことを目的とした利用が多く、幅広い年齢層からの利用がある。利用者はほぼ府内からの利用となっており、滞在時間が2時間以内の短時間の利用が9割弱を占めている。

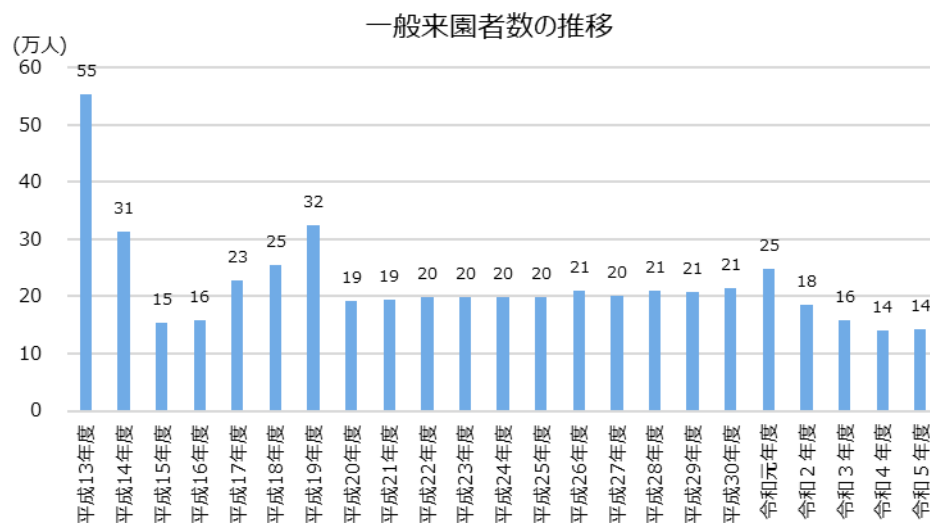
満足度では、植物管理や施設管理で満足度が高く、満足との回答が概ね8割程度となっている。一方、サービス関連では満足度が低く、特に高齢者、障がい者等への配慮や売店などのサービス施設では、満足が1割以下で、不満が約6割となっている。



・公園施設の利用実態の把握

本公園の年間来園者数は、平成 13 年度は 55 万人であったが、その後減少し、平成 20 年度以降は、約 20 万人で横ばい傾向であった。令和 2 年度以降、減少傾向がみられ、令和 5 年度は 14 万人となっている。施設利用では、有料施設はキャンプ場のみで、令和 5 年度は、年間 180 件の利用があった。

・来園者数



・施設別使用件数・使用率等

	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	使用件数	使用率	使用件数	使用率	使用件数	使用率
キャンプ場	17		122		180	

5. ゾーンの設定

• 各ゾーンの区分とコンセプト

マネジメントプランで設定したゾーンについて、各公園に共通するゾーン区分とコンセプトを以下のように定めた。

※公園によっては一部のゾーンのみ設定している場合がある。

ゾーン名	コンセプト
自然ゾーン	みどり、花、水等の自然資源に恵まれ、それらの魅力を保全し、活用していくゾーン
スポーツゾーン	テニスコート、野球場、球技広場等の各種スポーツの場となり、利用者の心と体の健康を作り出すゾーン
賑わい創出ゾーン	その公園の魅力を活かし、施設やイベントを通じて賑わいを創出するゾーン
レクリエーションゾーン	みどりや川辺、海浜といった豊かな自然の中で、多種多様なレクリエーション活動の場となるゾーン

• ゾーンの設定

- 長野公園は、全ての地区において自然ゾーンの位置付けであるが、長野地区のみが南海高野線並びに近鉄長野線「河内長野駅」から 300m と駅から近く、本公園の導入部的な位置に立地していることから、コアゾーンとして設定した。
- 他の4地区においては、長野地区を拠点に、各地区の眺望や四季の風景、歴史資源を巡り、地域の自然や魅力とふれあうよう、サテライトゾーンとして設定した。

